



人生も事業もサクセス！



人生の企画・事業の企画

2017年11号

LC= LC × 3R × 3H × 2A × 1C × Op

人生	環境	資源	健康	行動	機会	運用
ライフ サイクル	ライフ サイクル	3つの 基礎資源	3つの 健康資源	2つの 日常行動	チャンス をモノに	運用の レベルは

人生企画は最強のコミュニケーションツール

あなたは、もう人生企画書を作ってみましたか？
ぜひ、自分の人生企画書を作り、発信してみましょう。

身近な人にプレゼンテーション

はじめての人生企画書は、まだ自分でもギクシャクしているかも知れません。しかし、過去、現在、未来を一望し、自分の価値観が鮮明に出ているはず。まず、身近な人にプレゼンテーションしてみてください。配偶者に、あるいは親兄弟姉妹に、親しい友人に見せてみましょう。おそらく、「へえ、こんな子供時代を送ってきたんだ」「こんなことを考えているんだ」と、あなたについて様々な発見をしてくれるとともに、あなたへの評価が高まります。いままで知らなかった、その身近な人たちのことも教えてくれることでしょう。

自己紹介ツールとして

はじめて会った人に、名刺と一緒に渡してみましょう。出会い頭に強い印象を持ってくれるに違いありません。人生企画書はことに自営業でフリーで仕事をしている人の場合、非常に密度の濃い自己紹介ツールです。

就職・転職などに自己アピール

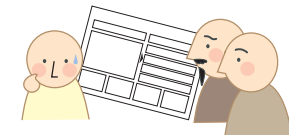
人生企画書を就職時や転職時に履歴書に添付し、みごとに希望の企業に入社している人もいます。しかも、年齢制限を大幅に超えているのに採用されたケースも多々ある強力な武器なのです。一般的な職務履歴書だけとは比べものにならない情報量と表現力があります。

人生企画書は何年も付き合っている人に見せても、新鮮な驚きを感じてもらえ、話題もはずみず。「いまさら」と照れずに、まずは「こういうものを作ってみたんだけど…」と自分を発信してみましょう。

様々な活用法

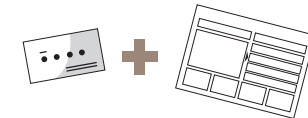
身近な人へ プレゼンテーション

今までより深い理解を
持ったつきあいに



自己紹介に

最初の出会いで、将来の夢や趣味などで個人的に近づき、存在を印象づける



自己アピールに

仕事に対するやる気や、考え方など履歴書に表現できない部分を打ち出す



コミュニケーションの道具立て

人生企画書のみならず、自分を演出する道具立てを行い、それらを活用することで、自分を積極的にプロデュースしましょう。

出会い時のツールで自分を演出

ビジネスマンなら名刺は誰でも利用するものですが、私的な名刺を作成し、効果的に使って人脈を増やす人も増えています。ひと工夫して商品紹介、自分の業歴や写真を入れる、将来の夢や趣味的なもので個人的に近づく…など、工夫次第で名刺ひとつでも変わります。もちろん人生企画書をつけて名刺を渡すのもよいでしょう。

日常型のコミュニケーションは手数とクイックレスポンス

電話、メール、DMなどを上手に使うのはビジネスの常套手段ですが、最近ではSNSでの連絡が圧倒的に増えてきました。

こういう時代だからこそ手書きが気持ちを伝える場合もあります。これらのコミュニケーションツールは質より量（手数）がものをいいます。「あの人に頼もう」「あの人にきいてみよう」としっかり認知され、信頼を築ければ成功です。なにより続けることが肝心です。

企画書・提案書もコミュニケーションツール

企画書・提案書もコミュニケーションツールのひとつです。相手の問題をヒアリングして、解決の方策を示すのが企画書、解決の方向性を示すのは提案書です。ゼロ成長の中で新しい考え方を模索する経営（メールマガジンも良いでしょう）、論文、著作などを出す人は、確実に注目され、いざというときに頼りにされるでしょう。

様々なコミュニケーションツール

**出会い時の
コミュニケーション・ツール**
最初の出会いでキャリアを示す

名刺
履歴書
業歴書



**日常型の
コミュニケーション・ツール**
手数で迫り、やる気と存在感を高め、
人脈のパイプを太くする

電話
メール
SNS
ハガキ



**キャリアを示す
コミュニケーション・ツール**
制作することで自分のキャリア能力を
高め、キャリアの高い存在感を示す

情報紙
ホームページ
企画書・提案書
パブリシティ
論文・著作



目標必達への原動力…継続は力

人生企画書は、夢の実現へ向かう地図といえます。

しかし書いたからといって、目標が実現するわけではありません。むしろ最初に書いたものは不備不足が目立つものです。

なかには、あまりの不備不足を感じて、もう書きたくないと思う人もありますが、最初はそんなものです。ゴルフでも最初からグリーンをとらえることはできないのと同じことです。

できれば、作った人生企画書を日々眺めてチェックし、半年に一回、また年に一回はリニューアルしましょう。数年経つと、目標まで前倒しになっている自分に気づくはずです。

日々チェックする

全体を見ながら、毎日を過ごす。こつこつと続けることで、目標を意識し、結果的に自分の到達目標に近づいていることに気づくでしょう。デスクやトイレに貼っている人もいます。毎日見る手帳に縮小コピーして入れている人もいます。

目標を常に気にする環境は、目標達成を近づけます。

家族やビジネスパートナーと作る

身近な人、配偶者や仕事のパートナーとしてやっていきたい人と人生企画書を作りましょう。同じ目標をもってお互いに人生企画を作成しても、微妙にズレが起こります。

人生企画書があるからこそ、こうしたズレも早期に発見でき、軌道修正する役割を果たします。

お互いの過去や資源や夢を、企画書があるから単なる夢ではなく、具体的に語り合うことができ、強固な関係を築くことができるでしょう。

毎年、人生企画書をもとに1年を振り返る。会社も決算がある、人生にも決算を心がけよう。

年に1回チェックする

少なくとも年に1回はチェックするのが望ましいでしょう。

会社にも決算があって、1年の成果を見るように、個人の人生を振り返って人生を考えてみましょう。

数字上のことだけでなく、関連する人や友人、そして技能、知識など、人生企画の3資源も含めて決算してみるといいでしょう。

正月（元旦）にチェックし、リニューアルする

毎年正月に人生企画を見直し、加筆修正を加えてリニューアルしている人もいます。

年初に自分を見直し、家族の成長とともに自分の成長も確認するということは、「1年の計は元旦にあり」という言葉のように、1年のスタートとしてふさわしい儀式と言えます。

また、誕生日にチェックしてリニューアルするのもいいでしょう。

決算期にチェックし、リニューアルする

個人事業主や中小企業の社長は、会社と個人がほとんど同じ目標になることが多いわけですから、決算期に人生を振り返るのも、いい方法です。

決算は、いわば社長への成績表です。この成績をもとに、次期を考え、人生企画の軌道修正、リニューアルを行なうこととなります。